

総合的な学習の時間

令和5年度 授業改善のポイント

- (1) 各教科等で身に付けた資質・能力を十分に把握し、児童生徒が繰り返し活用・発揮できるよう総合的な学習の時間との関連を図る。
- (2) 探究的な学習にするために、課題の設定、情報の収集、整理・分析、まとめ・表現が繰り返される学習過程にする。
- (3) 児童生徒の学習の質を高め、探究的な学習を実現することにつながるよう、他者と協働して主体的に取り組む学習活動にする。
- (4) 児童生徒が自らの学びを意味付けたり価値付けたりすることで、自己の変容を自覚できるよう、振り返りの場を学習過程に適切に位置付ける。

探究的な学習の質を高める学習過程の工夫

【指導事例】小单元3の事例

中学校第3学年 单元名「災害から命を守る取組をしよう」（防災）

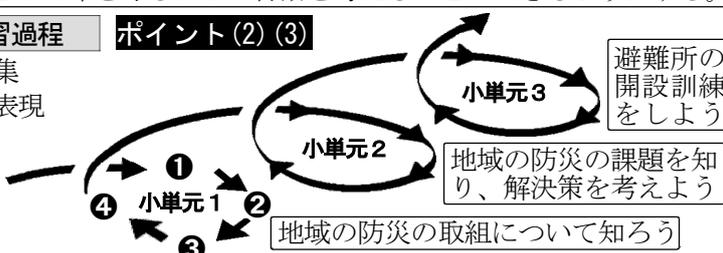
单元の目標：災害から命を守る方法を考える活動を通して、地域にはどのような災害リスクがあるのかを知り、地域の一員として命を守るための行動を考えることができるようにする。

探究的な学習における一連の学習過程

ポイント(2)(3)

- ①：課題の設定
- ②：情報の収集
- ③：整理・分析
- ④：まとめ・表現

①～④が順序よく繰り返されるわけではなく、順番が前後することもあります。また、一つの活動の中に複数のプロセスが一体化して同時に行われる場合もあります。



①：課題の設定

T：地域の一員として、命を守るためにどのような活動が考えられますか。
 S1：地域の人たちと一緒に避難訓練をしてみようかな。
 S2：実際に避難所を開設するのはどうだろう。
 S3：でも、私たちだけで避難所を開設できるのかな。
 S4：防災マップの話をしてくれた市役所の人に聞いてみようよ。
 T：避難所開設訓練で話がまとまっていますね。では、情報を集めて検討してみましょう。



ポイント(1)(3) 児童生徒にとって必要感のある課題となるよう、「気になるな」「何とかしたいな」「解決したいな」と抱いたことを大切に課題を設定するようにします。そのためには、教師の意図的な働き掛けが大切です。

②：情報の収集

小单元1や小单元2で関わった方々へ相談したり、インタビューしたりして避難所開設訓練に関する情報を収集します。また、他地域の情報をインターネットで調べたり、各市町村で作成している防災マップ等を活用したりして多様な情報を収集し、蓄積します。

ポイント(1)(3) 各教科等で身に付けた資質・能力を発揮して児童生徒が情報の収集を自覚的に行い、適切な方法で蓄積できるよう働き掛けることが大切です。

③：整理・分析

他地域の取組と市役所の方の話を比較したり関連付けたりして、情報を吟味して整理します。その際に、「考えるための技法」に対応した「思考ツール」を児童生徒が選択します。

ポイント(1)(3) 児童生徒自身が、「考えるための技法」に対応した「思考ツール」を選択できるよう、各教科等で経験を積み重ねることが大切です。

④：まとめ・表現

T：この訓練からどのようなことを実感しましたか。
 S1：避難所の開設は想像以上に大変だったけど、自分たちの役割や実際の動きが分かったのは大きな収穫だったね。
 S2：非常持出袋の必要性を実感したよ。家にも準備しないとね。
 S3：備蓄庫の毛布だけでは冬場は寒いと思うな。参加者にアンケートを実施して意見を聞いてみようよ。
 S4：そうだね。アンケートから反省点も見えてくるね。
 T：訓練を通して周りにも目を向けて様々なことに気付きましたね。アンケートの結果が次の訓練に役立ちそうですね。

ポイント(1)(3) 児童生徒の考えが一層明らかになったり、新たな課題が生まれたりするよう、相手意識や目的意識を明確にすることが大切です。

ポイント(3)(4) 児童生徒が自己の考えを整理し、自己の変容を自覚して、次の学びにつながるよう、振り返りの場を意図的に設定することが大切です。



学習活動を通して、課題解決に取り組んだことへの自信や自己肯定感が育まれ、社会への参画意識も醸成されます。